

第2次やちよ男女共同参画プラン

令和5年度進捗状況報告書（対令和4年度実績）

八千代市企画部企画経営課

男女共同参画センター

目 次

■第2次やちよ男女共同参画プランの体系図……………	1
1 「誰もが活躍でき、尊重されるまち“やちよ”」を目指して……………	2
2 令和5年度（令和4年度実績）の進捗状況……………	
（1）具体的な取組の進捗状況……………	2
（2）指標の進捗状況……………	9
■各指標の進捗状況一覧……………	9
3 審議会等における女性委員・公募委員登用状況……………	
（1）女性委員・公募委員登用状況……………	10
（2）女性委員登用状況調査結果より……………	10

【資料1】令和4年度 第2次やちよ男女共同参画プランに基づく事業進捗状況一覧

【資料2】各種審議会等委員状況調査結果

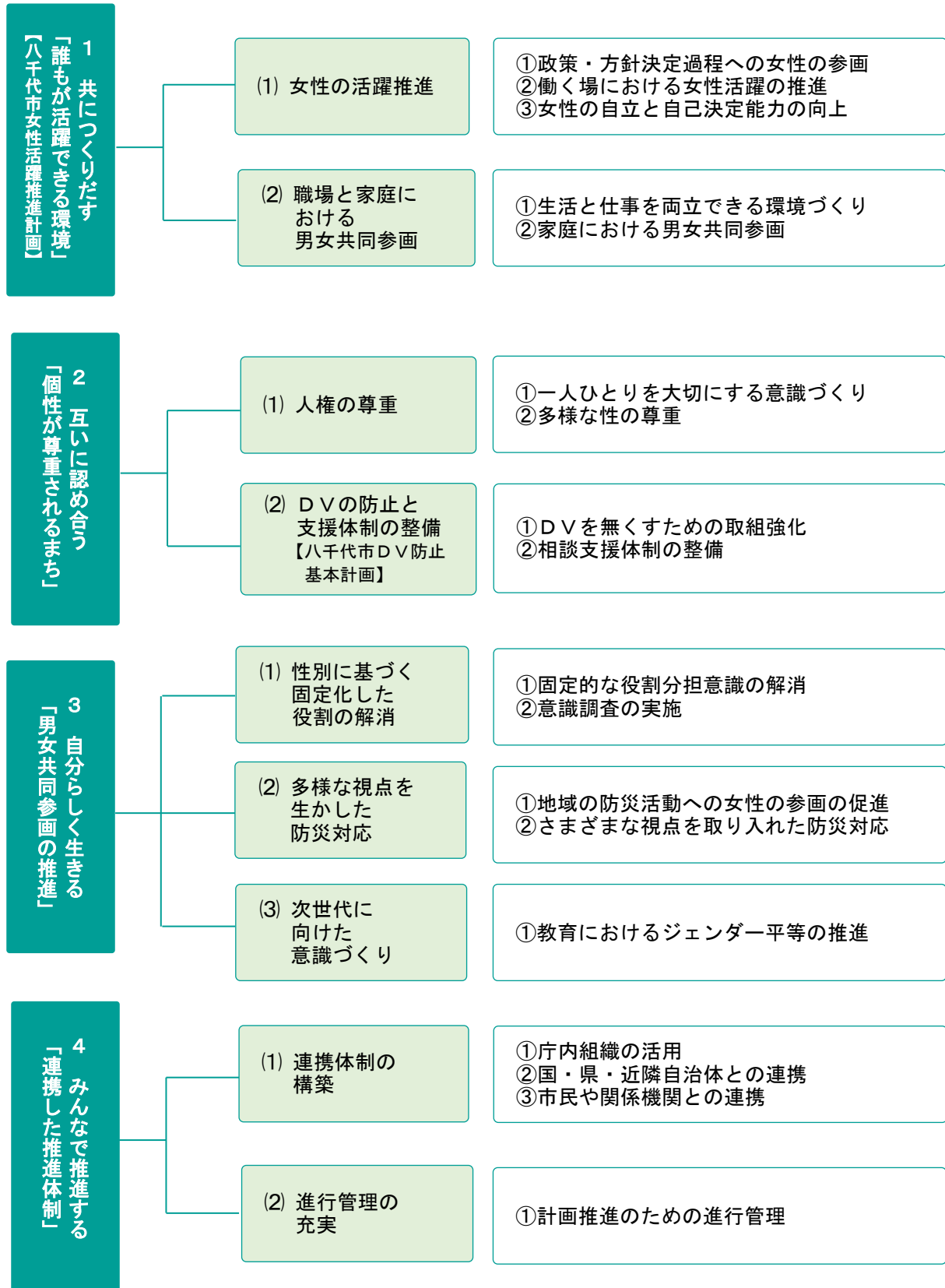
【資料3】各種審議会等における女性委員登用率未達成についての状況調査

■第2次やちよ男女共同参画プランの体系図

[目標]

[課題]

[施策]



1 「誰もが活躍でき、尊重されるまち“やちよ”」を目指して

本市では、平成23年度に策定した「やちよ男女共同参画プラン」が、令和2年度をもって10年間の計画期間を終了し、引き続き、令和3年度から6年までを計画期間とした「第2次やちよ男女共同参画プラン」のもと様々な取組を行っています。

男女共同参画基本法の基本理念である「男女の人権の尊重」「社会における制度又は慣行についての配慮」「政策等の立案及び決定への共同参画」「家庭生活における活動と他の活動の両立」「国際的協調」に基づき、本市では「誰もが活躍でき、尊重されるまち“やちよ”」を基本理念としております。本プラン策定に当たっては、前プランの内容を精査し、男女共同参画に関連が強い37の事業に絞り込み、取り組むべき内容を明確にしました。また、本プランの目標1は女性活躍推進法上の市町村推進計画として、目標2課題2は「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（いわゆるDV防止法）」上の市町村推進計画として位置付けています。

「誰もが活躍でき、尊重されるまち“やちよ”」を目指し、一層のスピード感を持って、各取組を推進してまいります。

2 令和5年度（令和4年度実績）の進捗状況

（1）具体的な取組の進捗状況

①全体の集計

評 価	計画通り実施	計画の一部を実施	未実施	その他 (計画変更など)	合 計
事業数	41	5	6	0	52
割 合	78.8%	9.6%	11.5%	0	100%

②目標ごとの評価

◆目標1 共に作りだす「誰もが活躍できる環境」

●課題（1） 女性の活躍推進

※資料1・事業番号1～6参照

評 価	計画通り実施	計画の一部を実施	未実施	その他 (計画変更など)	合 計
事業数	5	3	2	0	10
割 合	50.0%	30.0%	20.0%	0	100%

【主な事業の実績】

事業番号 1 「審議会等委員への女性委員登用促進」

・企画経営課

千葉県女性人材リストを庁内に周知し、活用促進を図った。女性委員登用率が未達成の審議会等所管課に対し、改善計画書の提出依頼は、準備が整わずできなかった。令和5年度からは、事務の簡略・効率化を考慮し、例年行っている「各種審議会等における女性委員登用率未達成に関する状況調査」と併せ、改善方法等を調査する方向で検討した。

事業番号 3 「女性の就職支援」

・商工観光課

千葉県及び近隣市と連携し、女性向けの再就職セミナーを共同開催した。

① 11月21日・浦安市役所 ② 12月12日・習志野市中央公民館 ③ 令和5年2月15日・船橋市中央公民館

事業番号 4 「女性の起業支援、ネットワークづくりの機会の提供」

・企画経営課

“市制施行55周年記念事業”男女共同参画週間事業「地域をつなげた起業ストーリー～幸せのサイクルを生んだ学生服リユース～」を開催した。当日は、女性起業家の参加も多くあり、情報交換の場の提供にもつながった。また、市ホームページに講座レポートを掲載した。

○ 6月18日・生涯学習プラザ

事業番号 6 「女性のための相談の実施」

・企画経営課

これまでの傾聴中心の相談業務から、対面を取り入れた予約制の相談業務に変更した。女性が抱える様々な悩みや問題について、カウンセリングの技法を備えた女性専門相談員による相談を行い、必要に応じて関係機関につなげることで相談者自らが問題を解決できるよう支援することができた。

●課題（2） 職場と家庭における男女共同参画

※資料1・事業番号7～9参照

評価	計画通り実施	計画の一部を実施	未実施	その他 (計画変更など)	合計
事業数	5	0	1	0	6
割合	83.3%	0	16.7%	0	100%

【主な事業の実績】

事業番号 7 「関係機関と連携した情報提供」

・企画経営課

八千代商工会議所等と連携し、事業所調査の際、職場での多様な働き方や女性活躍に向けた資料を同封し、意識啓発を図った。

事業番号 8 「男性の家事・介護参画促進」

・企画経営課

男性のための介護基礎講座「あなたもケアメンになろう」を2回の連続講座として実施した。また、市ホームページに講座レポートを掲載した。

① 11月18日「車いすの扱い方の説明と体験、衣服の着脱」ほか ② 11月25日「介護に必要な基礎知識、介護保険制度の手続き」

事業番号9「男性の子育て参画推進」

・母子保健課

赤ちゃん和生活するイメージの共有や沐浴実習を主とした「パパとママの子育て教室」を保健センターで開催。新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮しながら、徐々に教室を再開し、年間17回実施、314人（156組）が参加した。

○内訳 4月・6月・8月は2部制（合計6回）、10月・令和5年2月は4部制（合計8回）、12月は3部制（合計3回）、計17回。

・企画経営課

父親と子どもを対象とした「パパと子どものふれあい広場」を2回開催した。また、父親同士の交流会も行った。

①9月4日「家でも楽しめる運動遊び、身近な物を使った工作」 ②9月19日「ミニ運動会」

◆目標2 互いに認め合う「個性が尊重されるまち」

●課題(1) 人権の尊重

※資料1・事業番号10～13参照

評価	計画通り実施	計画の一部を実施	未実施	その他 (計画変更など)	合計
事業数	5	0	0	0	5
割合	100%	0	0	0	100%

【主な事業の実績】

事業番号10「ジェンダー平等の周知と啓発」

・企画経営課

市が後援を行った第3回八千代台ハンドメイドマルシェでパネル展示を行った。図書館での男女共同参画関連図書展示の際に、パネルの提供や啓発資料の設置などを行った。

事業番号11「職員の意識啓発」

・職員課

男女共同参画センターの職員を講師として、6月の主事研修では「多様な性の理解について」、10月の新規採用職員研修Ⅱでは「男女共同参画に関する取組」についての研修を行った。

・企画経営課

9月の特別非常参集職員・収容班職員研修にて避難所における性被害の危険性や男女共同参画視点の防災対応について講義を行った。

事業番号12「多様な性への理解促進」

・企画経営課

広報やちよ6月1日号に「誰もが自分らしく過ごしていくために」を掲載した。パートナーシップ制度について制度導入市等の情報収集をした。今年度結成された性的マイノリティと支援者の会「にじいろコンパス」への支援を行ったほか、連携して、市民イベントでの啓発活動や図書館でのパネル展示を行った。市内図書館5館の司書に原稿執筆を依頼し、『やちよぺあNo.47「図書館司書の皆さんに聞きました！“自分らしさ”や“性の多様性”について考えたいときにおススメの本』を発行した。令和5年3月に、市職員等が性的マイノリティへ対応するための指針となる「性の多様性を認め合い行動するためのガイドライン」を策定した。

事業番号 13 「性別記載欄の削減」

・企画経営課

令和4年度の状況を把握するため、令和5年2～3月にかけて調査を実施し、性別記載欄削減に向け、記載例などを周知した。

●課題(2) DVの防止と支援体制の整備

※資料1・事業番号14～18参照

評 価	計画通り実施	計画の一部を実施	未実施	その他 (計画変更など)	合 計
事業数	6	0	0	0	6
割 合	100%	0	0	0	100%

【主な事業の実績】

事業番号 14 「早期解決につなげるための情報発信」

・企画経営課

市ホームページで相談窓口の情報などを周知した。10月にDV相談窓口の情報をイオンモールモニターで放映した。相談窓口情報のチラシ等を東南公民館まつりや第3回八千代台ハンドメイドマルシェなどで設置した。図書館での関連図書展示にあわせ、DV防止啓発しおりを設置した。

事業番号 15 「DVの根絶に向けた啓発事業の実施」

・企画経営課

11月の「女性に対する暴力をなくす運動」啓発期間に合わせ、市ホームページで啓発を行ったほか、広報11月1日号に「DVは身体への暴力だけではありません」を掲載した。ストレスの多い働く場で女性が活躍できるよう支援するための講座を開催したが、Youtubeでの配信はできなかった。市ホームページに講座レポートを掲載した。

○令和5年2月25日 「働く女性のためのイライラモヤモヤとの付き合い方」

事業番号 17 「相談による支援」

・福祉総合相談課

身の安全確保や一時保護のための情報提供のほか、問題解決に向かうための関係機関の紹介や制度の情報提供を行った。105件の相談を受けた。

事業番号 18 「関係機関との連携」

・子ども相談センター

八千代市要保護児童対策地域協議会進行管理連絡部会を毎月1回開催し、関係機関と協議の上、支援方針を検討した。

◆目標３ 自分らしく生きる「男女共同参画の推進」

●課題（１） 性別に基づく固定化した役割の解消

※資料１・事業番号１９～２２参照

評 価	計画通り実施	計画の一部を実施	未実施	その他 (計画変更など)	合 計
事業数	５	０	０	０	５
割 合	１００％	０	０	０	１００％

【主な事業の実績】

事業番号２０「図書館との連携」

・図書館

各館が、男女共同参画に関連したテーマを設定し、関連図書の展示及び啓発を行った。

- ①中央図書館「理系に進む女性を応援」 ②大和田図書館「ジェンダーを考える」 ③八千代台図書館「DV防止」 ④勝田台図書館「性の多様性」 ⑤緑が丘図書館「仕事も家事も子育ても一緒に」

・企画経営課

図書館各館で行われた男女共同参画関連図書展示に合わせ、パネルの提供や啓発資料の設置などを行った。

●課題（２） 多様な視点を生かした防災対応

※資料１・事業番号２３～２７参照

評 価	計画通り実施	計画の一部を実施	未実施	その他 (計画変更など)	合 計
事業数	５	１	３	０	９
割 合	５５．６％	１１．１％	３３．３％	０	１００％

【主な事業の実績】

事業番号２３「防災訓練等における啓発」

・危機管理課

地域の防災訓練等で、女性の参画の重要性について説明を行った。

- 説明回数 ２２回

事業番号２４「女性消防団員との連携」

・消防総務課

女性消防団員が、普通救命講習、児童・生徒救命体験、幼年消防クラブへの火災予防啓発活動、住宅用火災警報器普及啓発活動等を実施するための連絡調整を行った。

事業番号２７「避難所開設担当職員等への意識啓発」

・企画経営課

特別非常参集職員・収容班職員研修において、避難所における性被害の危険性や、男女共同参画視点の避難所運営について周知したほか、各避難所の防災倉庫に設置している資料等の説明を行った。

- 設置資料 ①「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」掲載の「避難所チ

ェックシート」 ②「性被害防止啓発ポスター」 ③「にじいろ防災ガイド」（岩手レイ
ンボー・ネットワーク制作）

●課題（３） 次世代に向けた意識づくり

※資料１・事業番号２８～３２参照

評 価	計画通り実施	計画の一部を実 施	未実施	その他 (計画変更など)	合 計
事業数	５	１	０	０	６
割 合	８３．３％	１６．７％	０	０	１００％

【主な事業の実績】

事業番号２８「児童生徒のジェンダー平等の意識づくり」

・指導課

男女共同参画センターと連携し、同センターが作成したジェンダー平等啓発の４コマま
んがパネルを、市内小中義務教育学校４校（小２校・中２校）に掲示した。児童生徒及び
教職員がジェンダー平等について認識を持つ機会を設定した。

事業番号２９「教職員研修の実施」

・指導課

学校人権教育研修会を対面で実施した。各小中義務教育学校の学校人権教育主任の人権
に対する意識啓発を図ることができた。

事業番号３０「個性を伸ばす保育の実践」

・子ども保育課

園長会議等において、ジェンダー平等に関する資料や配信映像、研修報告等を共有し、
子どもの性別にとらわれて無意識に男女の区分けをすることがないよう、個人の意思を尊
重する保育の実践について話し合い、再度共通理解を図った。

事業番号３１「性教育の実施」

・保健体育課

思春期保健ネットワーク会議との連携を図り、市内中学校１０校及び義務教育学校に
おいて、学校医による専門的な知見から、生徒に対し、性に関する正しい知識を身に付け
させることができた。

事業番号３２「学生への意識啓発」

・企画経営課

市内の大学及び専門学校２校に対し、ジェンダー意識が原因の一つとされる「デートＤ
Ｖ」に関して、県発行の資料等を配付し意識啓発を図った。

◆目標４ みんなで推進する「連携した推進体制」

●課題（１） 連携体制の構築

※資料１・事業番号３３～３６参照

評 価	計画通り実施	計画の一部を実施	未実施	その他 (計画変更など)	合 計
事業数	4	0	0	0	4
割 合	100%	0	0	0	100%

【主な事業の実績】

事業番号３３「庁内推進体制の充実」

・企画経営課

男女共同参画推進会議委員等に対し、「第２次やちよ男女共同参画プラン」における令和４年度進捗状況報告（対令和３年度実績）について、書面で意見収集を行った。

事業番号３５「市民参加の推進」

・企画経営課

男女共同参画センター支援団体「らいてうの会」との共催講座を開催し、講座レポートを市ホームページに掲載した。

○１０月２９日「江戸時代の遊郭・遊女・遊客の実像－性差（ジェンダー）の歴史から現代社会を考える－」

男女共同参画センター支援団体「らいてうの会」と連携し、市ホームページを活用した取組を行った。

○コラム「私たちの心を動かした５人の女性～婦人参政権運動にかかわった女性たち～」やちよ男女共同参画プラン懇話会を開催した。

○１２月２０日 議題「第２次やちよ男女共同参画プラン令和４年度進捗状況報告（対令和３年度実績）」ほか

●課題（２） 進行管理の充実

※資料１・事業番号３７参照

評 価	計画通り実施	計画の一部を実施	未実施	その他 (計画変更など)	合 計
事業数	1	0	0	0	1
割 合	100%	0	0	0	100%

【主な事業の実績】

事業番号３７「進捗状況調査の実施と評価」

・企画経営課

令和４年度の実施事業の進捗状況を調査し、進行管理を行った。また、庁内会議やプラン懇話会の意見を参考に取組を検討した。

(2) 指標の進捗状況

各指標の数値については、次ページ「■各指標の進捗状況一覧」のとおり。

評 価	達 成	未達成	未実施	合 計
指標数	0	2	3	5
割 合	0	40%	60%	100%

■各指標の進捗状況一覧

	項 目	現況値 (令和5年3月末)	目標値	目標値の 設定計画
1	市の審議会等の女性委員割合	32.55%	40.0%	総合計画
2	次のような行為をDVと認識する人の割合 ・精神的暴力： 交友関係や電話を細かく監視する ・経済的暴力： 必要な生活費を渡さない ・性的暴力： 避妊に協力しない	新規指標のため現状値なし	すべての項目において、100% (※)	第2次やちよ男女共同参画プラン
3	「夫は外で働き、妻は家庭を守る方がよい」の考えに反対する市民の割合	新規指標のため現状値なし	70% (※)	第2次やちよ男女共同参画プラン
4	性別にとらわれず多様な生き方・働き方を選択できると感じている市民の割合	30.4% (※)	35% (※)	総合計画
5	第2次やちよ男女共同参画プランにおいて、達成できた事業の割合	新規指標のため現状値なし	100%	第2次やちよ男女共同参画プラン

- ・ 1 (※) は、市民意識調査等結果による
- ・ 2 いずれの数値目標も、所管は男女共同参画センター

3 審議会等における女性委員・公募委員登用状況

(1) 女性委員・公募委員登用状況

	審議会数 (休会除く)	全審議会に 占める割合	委 員 数	全委員に 占める割合
全審議会	80	100%	1,020人	100%
女性委員の いる審議会	72	90.0%	332人 (女性委員数)	32.55%
公募委員の いる審議会	35	43.8%	93人 (公募委員数)	9.12%

※令和5年3月末時点

(2) 女性委員登用状況調査結果より

本プランでは、市が設置する審議会等の女性委員登用率の目標を40%と定め、すべての審議会等に女性が委員として参画するよう推進しています（本報告書10ページ 指標No.1 参照）。

令和5年3月31日（令和4年度末）時点で、目標値を達成していない審議会等は47、達成している審議会等は29、廃止・休会等は16で、半数以上が目標値に届いていない状況です。

目標値を達成していない審議会等について調査を行ったところ、「推薦を依頼した団体に女性が少ない」、「公募を行っているが、女性の応募が少ない」等が主な理由として挙げられました。このことから、関係機関に推薦依頼をする際の女性委員登用の促進に関しての働きかけや、県内外の各分野で活躍している女性に関する情報を収集した「千葉県女性人材リスト」の周知等を行いました。

また、コミュニティ推進課が実施している「八千代市審議会等委員候補者公募制度」による公募委員候補者名簿を活用する際には、コミュニティ推進課より女性委員の登用率を考慮するよう助言してもらうなどの連携を行っています。

【資料１】令和４年度 第２次やちよ男女共同参画プランに基づく事業進捗状況一覧

目標 1 共につくります「誰もが活躍できる環境」

課題(1) 女性の活躍推進

施策① 政策・方針決定過程への女性の参画

事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「1・2」の事業実績	「2・3・4」の理由	評価・課題	評価
1	審議会等委員への女性委員登用促進	企画経営課	12	2.計画の一部を実施	・千葉県女性人材リストを庁内に周知し、活用促進を図った。 ・女性委員登用率が未達成の審議会等所管課に対し、改善計画書の提出依頼は、準備が整わずできなかった。 ・令和5年度からは、事務の簡略・効率化を考慮し、例年行っている「各種審議会等における女性委員登用率未達成に関する状況調査」と併せ、改善方法等を調査する方向で検討した。	女性参画の必要性について、所管課に向けての積極的な情報発信ができなかったため。	・千葉県女性人材リストを職員に周知することができた。 ・改善計画書に取り組むことはできなかったが、未達成理由等調査は実施した。 ・令和5年度からは、「各種審議会等における女性委員登用率未達成に関する状況調査」と合わせ、改善方法等も調査するよう調整する。	B
2	女性の政治分野への参画推進	企画経営課	12	2.計画の一部を実施	図書館での男女共同参画関連図書展示に合わせ、内閣府男女共同参画局が作成した「女性の政治参画マップ」を掲示し意識啓発を図った。	高等学校での出前講座の際に、女性の政治分野への参画推進に係るリーフレットの作成・配付ができなかったため。	機会を捉えてポスター掲示等を行ったが、リーフレット作成や市ホームページを活用した情報発信に取り組むことができなかった。令和5年度は市ホームページを活用した啓発を検討する。	B
		議会事務局		3.未実施		関係部署による女性の政治参画に向けた情報紙等の作成がなく、女性議員との調整が必要なかったため。	関係部署から調整依頼等があった際は連携し取り組む。	C
		選挙管理委員会事務局		3.未実施		選挙の公平性という観点から、高等学校での出前講座の際に、女性の政治分野への参画推進に係る資料等の配付は難しいため。	公平・公正な選挙の管理執行に対し支障が出る恐れがあるため、連携した取組は難しい。	C

施策② 働く場における女性活躍の推進

事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「1・2」の事業実績	「2・3・4」の理由	評価・課題	評価
3	女性の就職支援	企画経営課	13	1.計画通り実施	再就職等をを目指す女性を対象とした「女性のための就職サポート講座」を2回実施した。また、市ホームページに講座レポートを掲載した。 ①7月7日「家庭と両立させるキャリアプラン」 ②7月15日「最近の就職情報と採用担当者が会いたくなる応募用紙の書き方」		計画通り実施できた。	A
		商工観光課		1.計画通り実施	千葉県及び近隣市と連携し、女性向けの再就職セミナーを共同開催した。 ①11月21日 浦安市役所 ②12月12日 習志野市中央公民館 ③令和5年2月15日 船橋市中央公民館		計画通り実施できた。	A
4	女性の起業支援、ネットワークづくりの機会の提供	企画経営課	13	1.計画通り実施	“市制施行55周年記念事業”男女共同参画週間事業「地域をつなげた起業ストーリー～幸せのサイクルを生んだ学生服リユース～」を開催した。当日は、女性起業家の参加も多くあり、情報交換の場の提供にもつながった。また、市ホームページに講座レポートを掲載した。 ○6月18日 生涯学習プラザ		計画通り実施できた。	A
		商工観光課		2.計画の一部を実施	男女共同参画センターと調整し、“市制施行55周年記念事業”男女共同参画週間事業「地域をつなげた起業ストーリー～幸せのサイクルを生んだ学生服リユース～」を共同開催した。 ○6月18日 生涯学習プラザ	下半期に関係機関と連携し、セミナー等を開催することができなかったため。	関係機関とより一層の連携を図り、セミナー開催方法等について検討する。	B

施策③ 女性の自立と自己決定能力の向上

事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「1・2」の事業実績	「2・3・4」の理由	評価・課題	評価
5	ロールモデルの紹介による女性のエンパワメント	企画経営課	14	1.計画通り実施	“市制施行55周年記念事業”男女共同参画週間事業「地域をつなげた起業ストーリー～幸せのサイクルを生んだ学生服リユース～」を開催し、女性起業家の講演会と、女性起業家と地域づくりに取り組む団体の代表とのパネルディスカッションを行った。ロールモデルとなる女性起業家の講演を通じて、参加した女性起業家等が能力を発揮できるよう促すきっかけとした。		計画通り実施できた。	A
6	女性のための相談の実施	企画経営課	14	1.計画通り実施	これまでの傾聴中心の相談業務から、対面を取り入れた予約制の相談業務に変更した。女性が抱える様々な悩みや問題について、カウンセリングの技法を備えた女性の専門相談員による相談を行い、必要に応じて関係機関につなげることで相談者自らが問題を解決できるよう支援することができた。		計画通り実施できた。	A

課題② 職場と家庭における男女共同参画								
施策① 生活と仕事を両立できる環境づくり								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「１・２」の事業実績	「２・３・４」の理由	評価・課題	評価
7	関係機関と連携した情報提供	企画経営課	17	1.計画通り実施	八千代商工会議所等と連携し、事業所調査の際、職場での多様な働き方や女性活躍に向けた資料を同封し、意識啓発を図った。		計画通り実施できた。	A
		商工観光課		1.計画通り実施	八千代商工会議所発行の商工やちよ7月号に、中小企業向け働き方改革オンラインセミナー参加者募集記事を掲載した。	計画通り実施できた。	A	
施策② 家庭における男女共同参画								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「１・２」の事業実績	「２・３・４」の理由	評価・課題	評価
8	男性の家事・介護参画促進	企画経営課	17	1.計画通り実施	男性のための介護基礎講座「あなたもケアメンになろう」を2回の連続講座として実施した。また、市ホームページに講座レポートを掲載した。 ①11月18日「車いすの扱い方の説明と体験、衣服の着脱」ほか ②11月25日「介護に必要な基礎知識、介護保険制度の手続き」		計画通り実施できた。	A
9	男性の子育て参画促進	子ども保育課(子ども支援センターすてっぷ21)	17	3.未実施		新型コロナウイルス感染拡大防止により、保育園の職員が他の保育園の職員と接触を控えたため、男性保育士による動画配信の計画は進めていたが、実施には至らなかったため。	男性保育士による子育て世帯に向けての動画配信は継続して検討し実施していく。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していた、父親と子どもの交流会「お父さん一緒に遊ぼうよ」の再開を目指す。	C
		母子保健課		1.計画通り実施	赤ちゃんと生活するイメージの共有や沐浴実習を主とした「パパとママの子育て教室」を保健センターで開催。新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮しながら、徐々に教室を再開し、年間17回実施、314人(156組)が参加した。 ○内訳 4月・6月・8月は2部制(合計6回)、 10月・令和5年2月は4部制(合計8回)、 12月は3部制(合計3回)、計17回。		計画通り実施できた。	A
		企画経営課		1.計画通り実施	父親と子どもを対象とした「パパと子どものふれあい広場」を2回開催した。また、父親同士の交流会も行った。 ①9月4日「家でも楽しめる運動遊び、身近な物を使った工作」 ②9月19日「ミニ運動会」		計画通り実施できた。	A
目標2 互いに認め合う「個性が尊重されるまち」								
課題(1) 人権の尊重								
施策① 一人ひとりを大切にする意識づくり								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「１・２」の事業実績	「２・３・４」の理由	評価・課題	評価
10	ジェンダー平等の周知と啓発	企画経営課	20	1.計画通り実施	・市が後援を行った第3回八千代台ハンドメイドマルシェでパネル展示を行った。 ・図書館での男女共同参画関連図書展示の際に、パネルの提供や啓発資料の設置などを行った。		計画通り実施できた。	A
11	職員の意識啓発	職員課	20	1.計画通り実施	男女共同参画センターの職員を講師として、6月の主事研修では「多様な性の理解について」、10月の新規採用職員研修Ⅱでは「男女共同参画に関する取組」についての研修を行った。		計画通り実施できた。	A
		企画経営課		1.計画通り実施	・6月の主事研修にて性の多様性についての講義を行った。 ・9月の特別非常参集職員・収容班職員研修にて避難所における性被害の危険性や男女共同参画視点の防災対応について講義を行った。 ・10月の新規採用職員研修Ⅱにて男女共同参画に関する講義を行った。		計画通り実施できた。	A

施策② 多様な性の尊重								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「1・2」の事業実績	「2・3・4」の理由	評価・課題	評価
12	多様な性への理解促進	企画経営課	21	1.計画通り実施	・広報やちよ6月1日号に「誰もが自分らしく過ごしていくために」を掲載した。 ・パートナーシップ制度について、制度導入市等の情報収集をした。 ・今年度に結成された性的マイノリティと支援者の会「にじいろコンパス」への支援を行ったほか、連携して、市民イベントでの啓発活動や図書館でのパネル展示を行った。 ・市内図書館5館の司書に原稿執筆を依頼し、『やちよべあ№47「図書館司書の皆さんに聞きました！“自分らしさ”や“性の多様性”について考えたいときにおススメの本」』をに発行した。 ・令和5年3月に、市職員等が性的マイノリティへ対応するための指針となる「性の多様性を認め合い行動するためのガイドライン」を策定した。		計画通り実施できた。	A
13	性別記載欄の削減	企画経営課	21	1.計画通り実施	・令和4年度の状況を把握するため、令和5年2～3月にかけて調査を実施し、性別記載欄削減に向け、記載例などを周知した。 (令和3年度調査結果は、現年度内に庁内へ周知した。)		計画通り実施できた。	A
課題2 DVの防止と支援体制の整備								
施策① DVを無くすための取組強化								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「1・2」の事業実績	「2・3・4」の理由	評価・課題	評価
14	早期解決につながるための情報発信	企画経営課	22	1.計画通り実施	・市ホームページで相談窓口の情報などを周知した。 ・10月にDV相談窓口の情報をイオンモールモニターで放映した。 ・相談窓口情報のチラシ等を八千代台東南公民館まつりや第3回八千代台ハンドメイドマルシェなどで設置した。 ・図書館での関連図書展示にあわせ、DV防止啓発しおりを設置した。		計画通り実施できた。	A
15	DVの根絶に向けた啓発事業の実施	企画経営課	23	1.計画通り実施	・11月の「女性に対する暴力をなくす運動」啓発期間に合わせ、市ホームページで啓発を行ったほか、広報11月1日号に「DVは身体への暴力ではありません」を掲載した。 ・ストレスの多い働く場で女性が活躍できるよう支援するための講座を開催したが、YouTubeでの配信はできなかった。市ホームページに講座レポートを掲載した。 ○令和5年2月25日「働く女性のためのイライラモヤモヤとの付き合い方」		計画通り実施できた。	A
16	次世代への啓発活動	企画経営課	23	1.計画通り実施	・市ホームページでの若年層の性暴力被害予防月間（4月）に関する周知を行った。 ・市内の大学及び専門学校3校へデートDVに関するチラシやカード等を配付し、周知を依頼した。 ・成人式でデートDVに関するチラシを配付した。		計画通り実施できた。	A
施策② 相談支援体制の整備								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「1・2」の事業実績	「2・3・4」の理由	評価・課題	評価
17	相談による支援	福祉総合相談課	23	1.計画通り実施	・身の安全確保や一時保護のための情報提供のほか、問題解決に向かうための関係機関の紹介や制度の情報提供を行った。 ・105件の相談を受けた。		計画通り実施できた。	A
18	関係機関との連携	福祉総合相談課	24	1.計画通り実施	7月27日に関係機関を招集し、ネットワーク会議を開催。対面方式により顔が見える関係性の構築を行なうほか、各部署での取組を報告し、情報共有を図った。		計画通り実施できた。	A
		子ども相談センター		1.計画通り実施	八千代市要保護児童対策地域協議会進行管理連絡部会を毎月1回開催し、関係機関と協議の上、支援方針を検討した。		計画通り実施できた。	A

目標3 自分らしく生きる「男女共同参画の推進」								
課題(1) 性別に基づく固定化した役割の解消								
施策① 固定的な役割分担意識の解消								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「1・2」の事業実績	「2・3・4」の理由	評価・課題	評価
19	市ホームページや情報メール等による情報発信	企画経営課	26	1.計画通り実施	・第2次やちよ男女共同参画プラン令和4年度進捗状況報告書（対令和3年度実績）を市ホームページに掲載した。 ・市内小中学校で、啓発パネルの展示を行った。 ・市が後援を行った第3回八千代台ハンドメイドマルシェでパネル展示を行った。		計画通り実施できた。	A
20	図書館との連携	図書館	26	1.計画通り実施	各館が、男女共同参画に関連したテーマを設定し、関連図書の展示及び啓発を行った。 ①中央図書館「理系に進む女性を応援」 ②大和田図書館「ジェンダーを考える」 ③八千代台図書館「DV防止」④勝田台図書館「性の多様性」 ⑤緑が丘図書館「仕事も家事も子育ても一緒に」		計画通り実施できた。	A
		企画経営課		1.計画通り実施	図書館各館で行われた男女共同参画関連図書展示に合わせ、パネルの提供や啓発資料の設置などを行った。		計画通り実施できた。	A
21	市発行物における、男女共同参画の視点からの表現に関する情報の発信	企画経営課	26	1.計画通り実施	・内閣府男女共同参画局が作成した、様々な職業や社会生活の場面を描いたフリーイラストを市ホームページに掲載した。 ・令和5年3月に、市職員等が性的マイノリティへ対応するための指針となる「性の多様性を認め合い行動するためのガイドライン」を策定した。その中で、性別などを決めつけた表現や性的マイノリティが不快に感じる言葉等は使わないよう注意喚起を行った。		計画通り実施できた。	A
施策② 意識調査の実施								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「1・2」の事業実績	「2・3・4」の理由	評価・課題	評価
22	市民・事業所・職員等を対象とした意識調査実施	企画経営課	26	1.計画通り実施	・八千代商工会議所に登録している市内事業所に対し、事業所調査を実施した。		計画通り実施できた。	A
課題(2) 多様な視点を生かした防災対応								
施策① 地域の防災活動への女性の参画の促進								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「1・2」の事業実績	「2・3・4」の理由	評価・課題	評価
23	防災訓練等における啓発	危機管理課	28	1.計画通り実施	地域の防災訓練等で女性の参画の重要性について説明を行った。 ○説明回数 22回		計画通り実施できた。	A
		企画経営課		1.計画通り実施	・危機管理課が行う特別非常参集職員・収容班職員研修において、避難所における性被害の危険性や男女共同参画視点の防災対応について周知することができた。		計画通り実施できた。	A
24	女性消防団員との連携	消防総務課	28	2.計画の一部を実施	女性消防団員が、普通救命講習、児童・生徒救命体験、幼年消防クラブへの火災予防啓発活動、住宅用火災警報器普及啓発活動等を実施するための連絡調整を行った。	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、総合防災訓練が中止され参加することができなかったため。	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、予定通り実施できなかった。令和5年度も引き続き、男女共同参画視点からの防災に関する啓発事業等の必要性について理解を深めるため、説明等を行う。	B
		企画経営課		3.未実施		女性消防団が所有する防災に関する紙芝居を利用し、市ホームページでの動画公開を企画していたが、紙芝居をインターネット上で公開することに対し、女性消防団の承認が得られなかったため。	防災分野への女性の参画推進を図るため、女性消防団と連携した取組を検討する。	C

25	女性の避難所運営への参画推進	危機管理課	28	1.計画通り実施	・避難所運営委員会において、避難者カード等の様式の性別記載欄を任意で記入できるように修正し、避難所運営へ女性が参加することの重要性について説明を行った。 ・地域防災計画の修正に合わせ、災害対応マニュアルへ避難所運営への女性の参加について追記した。 ・防災会議委員の更新に係る依頼文書を作成する際には、女性が参加することの重要性について記載した。		計画通り実施できた。	A
施策②　さまざまな視点を取り入れた防災対応								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和４年度実績	「１・２」の事業実績	「２・３・４」の理由	評価・課題	評価
26	男女共同参画の視点から取り組む防災情報の提供	危機管理課	28	3.未実施		広報やちよ9月1日号では、他の内容を掲載している関係で「男女共同参画の視点から取り組む防災情報」に関する内容を掲載することができなかった。	広報やちよには紙面に限りがあるため、男女共同参画視点からの防災情報の提供方法について検討を行う。	C
		企画経営課		3.未実施		女性消防団が所有する防災に関する紙芝居を利用した市ホームページでの動画公開を企画していたが、紙芝居をインターネット上で公開することに対し、女性消防団の承認が得られなかったため。	令和4年度以降、男女共同参画の視点に立った防災についての情報提供を、様々な媒体を活用し行っていく。	C
27	避難所開設担当職員等への意識啓発	危機管理課	28	1.計画通り実施	特別非常参集職員・収容班職員研修において、避難所における性被害の危険性や、男女共同参画視点の防災対応について男女共同参画センターと連携し、周知を図った。		計画通り実施できた。	A
		企画経営課		1.計画通り実施	特別非常参集職員・収容班職員研修において、避難所における性被害の危険性や、男女共同参画視点の避難所運営について周知したほか、各避難所の防災倉庫に設置している資料等の説明を行った。 ○設置資料　①「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」掲載の「避難所チェックシート」　②「性被害防止啓発ポスター」　③「にじいろ防災ガイド」（岩手レインボー・ネットワーク制作）		計画通り実施できた。	A
課題(3)　次世代に向けた意識づくり								
施策①　教育におけるジェンダー平等の推進								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和４年度実績	「１・２」の事業実績	「２・３・４」の理由	評価・課題	評価
28	児童生徒のジェンダー平等の意識づくり	企画経営課	29	1.計画通り実施	指導課と連携し、男女共同参画に関する市民意識調査の結果を分かりやすく解説した「ナイスさんかく！　４コマまんがパネル展」を行った。また、対象校の児童生徒や教員にパネル展を見て感じたこと等についてアンケートを行った。 ○展示実施校　八千代台東小学校・村上小学校・八千代中学校・村上中学校　実施済合計６校／２９校		計画通り実施できた。	A
		指導課		1.計画通り実施	男女共同参画センターと連携し、同センターが作成したジェンダー平等啓発の４コマまんがパネルを市内小中義務教育学校４校（小２校・中２校）に掲示した。児童生徒及び教職員がジェンダー平等について認識を持つ機会を設定した。		計画通り実施できた。	A
29	教職員研修の実施	指導課	29	1.計画通り実施	学校人権教育研修会を対面に戻して実施した。各小中義務教育学校の学校人権教育主任の人権に対する意識啓発を図ることができた。		計画通り実施できた。	A
30	個性を伸ばす保育の実践	子ども保育課	29	1.計画通り実施	園長会議等において、ジェンダー平等に関する資料や配信映像、研修報告等を共有し、子どもの性別にとらわれて無意識に男女の区分けをすることがないよう、個人の意思を尊重する保育の実践について話し合い、再度共通理解を図った。		計画通り実施できた。	A

31	性教育の実施	保健体育課	30	2.計画の一部を実施	思春期保健ネットワーク会議との連携を図り、市内中学校10校及び義務教育学校において、学校医等による専門的な知見から、生徒に対し性に関する正しい知識を身に付けさせることができた。	新型コロナウイルスの感染拡大により、段階的な実施を試みている状況であった。小学校においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で行事等の中止や延期により、実施の見通しがもてない状況であった。	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、4年度は計画通り実施できなかったが、次年度以降は小・中義務教育学校において思春期保健ネットワーク会議と連携した性に関する心とからだの健康教育を実施する。	B
32	学生への意識啓発	企画経営課	30	1.計画通り実施	市内の大学及び専門学校2校に対し、ジェンダー意識が原因の一つとされる「デートDV」に関して、県発行の資料等を配付し意識啓発を図った。		計画通り実施できた。	A
目標4 みんなで推進する「連携した推進体制」								
課題(1) 連携体制の構築								
施策① 庁内組織の活用								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「1・2」の事業実績	「2・3・4」の理由	評価・課題	評価
33	庁内推進体制の充実	企画経営課	30	1.計画通り実施	男女共同参画推進会議委員等に対し、「第2次やちよ男女共同参画プラン」における令和4年度進捗状況報告（対令和3年度実績）について、書面で意見収集を行った。 今後も状況に合わせ、臨機応変に対応しながら、推進体制との連携を図っていく。		計画通り実施できた。	A
施策② 国・県・近隣自治体との連携								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「1・2」の事業実績	「2・3・4」の理由	評価・課題	評価
34	会議等への参加	企画経営課	31	1.計画通り実施	・男女共同参画センター等連絡会議に出席し、県や他市との情報交換を行った。 ・ちば男女共同参画行政担当者連絡会議の書面会議に出席し、他市との情報交換を行った。		計画通り実施できた。	A
施策③ 市民や関係機関との連携								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「1・2」の事業実績	「2・3・4」の理由	評価・課題	評価
35	市民参加の推進	企画経営課	31	1.計画通り実施	・男女共同参画センター支援団体「らいてうの会」との共催講座を開催し、講座レポートを市ホームページに掲載した。 ○10月29日「江戸時代の遊郭・遊女・遊客の実像-性差（ジェンダー）の歴史から現代社会を考える-」 ・男女共同参画センター支援団体「らいてうの会」と連携し、市ホームページを活用した取組を行った。 ○コラム「私たちの心を動かしした5人の女性～婦人参政権運動にかかわった女性たち～」 ・やちよ男女共同参画プラン懇話会を開催した。 ○12月20日「第2次やちよ男女共同参画プラン令和4年度進捗状況報告（対令和3年度実績）ほか」		計画通り実施できた。	A
36	関係機関との連携	企画経営課	31	1.計画通り実施	八千代商工会議所等と連携し、“市制施行55周年記念事業”男女共同参画週間事業「地域をつなげた起業ストーリー～幸せのサイクルを生んだ学生服リユース～」を開催した。また、募集記事を商工やちよに掲載してもらった。		計画通り実施できた。	A
課題(2) 進行管理の充実								
施策① 計画推進のための進行管理								
事業番号	事業名	実施機関	プランの頁	令和4年度実績	「1・2」の事業実績	「2・3・4」の理由	評価・課題	評価
37	進捗状況調査の実施と評価	企画経営課	31	1.計画通り実施	令和4年度の取組事業の進捗状況を調査し、進行管理を行った。また、庁内会議やプラン懇話会の意見を参考に取組を検討した。		計画通り実施できた。	A

【資料2】 各種審議会等委員状況調査結果(令和5年3月31日現在)

	①審議会名	②課(室)名	③公募の有無	④公募なしの理由	現委員数	女性	議員	職員	公募
1	八千代市総合計画審議会	企画経営課	あり		21	5	0	0	3
2	八千代市行財政改革推進委員会	企画経営課	あり		0	0	0	0	0
3	やちよ男女共同参画プラン懇話会	企画経営課	あり		10	7	0	0	5
4	八千代こども国際平和文化基金事業推進懇談会	シティプロモーション課	あり		10	3	0	0	3
5	八千代市名誉市民選考委員会	秘書課	なし	⑦その他	0	0	0	0	0
6	八千代市情報化推進協議会	情報政策課	あり		9	1	0	0	3
7	八千代市政治倫理審査会	総務課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	0	0	0	0	0
8	八千代市行政不服審査会	総務課	なし	⑥行政処分・不服審査のため	5	1	0	0	0
9	八千代市情報公開審査会	法務課	なし	⑥行政処分・不服審査のため	5	1	0	0	0
10	八千代市個人情報保護制度運営審議会	法務課	あり		10	2	0	0	2
11	八千代市個人情報保護審査会	法務課	なし	⑥行政処分・不服審査のため	5	2	0	0	0
12	八千代市防災会議	危機管理課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	31	1	0	12	0
13	八千代市国民保護協議会	危機管理課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	33	2	0	14	0
14	八千代市市民活動団体支援審査会	コミュニティ推進課	あり		7	2	0	0	3

【資料2】 各種審議会等委員状況調査結果(令和5年3月31日現在)

	①審議会名	②課(室)名	③公募の有無	④公募なしの理由	現委員数	女性	議員	職員	公募
15	八千代市市民活動協議会	コミュニティ推進課	あり		8	5	0	0	3
16	八千代市市民活動団体公益事業補助金審査会	コミュニティ推進課	あり		6	3	0	0	2
17	八千代市特別職職員議員報酬等審議会	職員課	あり		0	0	0	0	0
18	八千代市入札契約適正化委員会	契約課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	3	0	0	0	0
19	八千代市公共施設再編検討・検証委員会	資産管理課	あり		7	2	0	0	4
20	八千代市民生委員推せん会	健康福祉課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	12	6	0	2	0
21	八千代市献血推進協議会	健康福祉課	なし	③事業関係者等による連絡調整のための会議にあたるため	7	3	2	1	0
22	八千代市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定・推進協議会	福祉総合相談課	あり		13	6	0	0	1
23	八千代市応急医療救護対策会議	健康福祉課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	27	4	0	7	0
24	八千代市健康福祉部所管施設指定管理者選考委員会	健康福祉課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	5	1	0	2	0
25	八千代市市営住宅等入居者選考委員会	健康福祉課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	5	3	0	2	0
26	八千代市老人ホーム入所判定委員会	福祉総合相談課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	7	2	0	3	0
27	八千代市在宅医療・介護連携推進会議	福祉総合相談課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	13	6	0	0	0
28	八千代市認知症初期集中支援チーム検討委員会	福祉総合相談課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	11	4	0	0	0

【資料2】 各種審議会等委員状況調査結果(令和5年3月31日現在)

	①審議会名	②課(室)名	③公募の有無	④公募なしの理由	現委員数	女性	議員	職員	公募
29	八千代市生活支援体制整備事業協議体	福祉総合相談課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	0	0	0	0	0
30	八千代市地域包括支援センター運営協議会	福祉総合相談課	あり		10	4	0	0	2
31	八千代市介護認定審査会	長寿支援課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	83	30	0	0	0
32	八千代市介護保険事業運営協議会	長寿支援課	あり		16	9	0	0	4
33	八千代市公的介護施設等整備事業者評価委員会	長寿支援課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	6	2	0	4	0
34	八千代市障害者計画等懇談会	障害者支援課	あり		0	0	0	0	0
35	八千代市福祉有償運送運営協議会	障害者支援課	なし	③事業関係者等による連絡調整のための会議にあたるため	10	1	0	3	0
36	八千代市障害者介護給付費等審査会	障害者支援課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	10	4	0	0	0
37	八千代市障害者差別解消支援地域協議会	障害者支援課	なし	③事業関係者等による連絡調整のための会議にあたるため	13	5	0	2	0
38	八千代市障害者福祉サービス事業所運営法人選定委員会	障害者支援課	あり		0	0	0	0	0
39	八千代市障害者自立支援協議会	障害者支援課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	23	12	0	3	0
40	八千代市医療的ケア児支援協議会	障害者支援課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	17	11	0	6	0
41	八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会	健康づくり課	あり		24	9	0	0	4
42	市の国民健康保険事業の運営に関する協議会	国保年金課	あり		13	4	0	0	4

【資料2】 各種審議会等委員状況調査結果(令和5年3月31日現在)

	①審議会名	②課(室)名	③公募の有無	④公募なしの理由	現委員数	女性	議員	職員	公募
43	八千代市子ども・子育て会議	子育て支援課	あり		15	1 1	0	0	4
44	八千代市保育所等設置・運営事業者評価委員会	子育て支援課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	3	2	0	0	0
45	八千代市新・放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会	子育て支援課	あり		13	8	0	1	2
46	八千代市放課後子ども教室推進事業委託事業者選定委員会	子育て支援課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	0	0	0	0	0
47	八千代市保育園等健康支援検討委員会	子ども保育課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	11	7	0	5	0
48	八千代市要保護児童対策地域協議会代表者会議	子ども福祉課_子ども相談センター	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	26	6	0	15	0
49	八千代市要保護児童対策地域協議会実務者会議	子ども福祉課_子ども相談センター	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	42	19	0	17	0
50	八千代市予防接種健康被害調査委員会	母子保健課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	7	2	0	2	0
51	八千代市思春期保健ネットワーク会議	母子保健課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	8	4	0	4	0
52	やちよ食育ネットワーク協議会	母子保健課	なし	③事業関係者等による連絡調整のための会議にあたるため	15	6	0	10	0
53	八千代市歯と口腔の健康づくり推進会議	母子保健課	なし	③事業関係者等による連絡調整のための会議にあたるため	20	9	0	0	0
54	八千代市産業振興審議会	商工観光課	あり		9	2	0	0	2
55	八千代市観光振興懇談会	商工観光課 観光推進室	あり		11	1	0	0	2
56	八千代市農政審議会	農政課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	10	2	0	0	0

【資料2】 各種審議会等委員状況調査結果(令和5年3月31日現在)

	①審議会名	②課(室)名	③公募の有無	④公募なしの理由	現委員数	女性	議員	職員	公募
57	八千代市経済環境部指定管理者選考委員会	農政課	なし	①公募は可能であるが公募をしていない	5	0	0	2	0
58	八千代市農業イノベーション計画協議会	農政課	あり		14	5	0	1	1
59	八千代市環境審議会	環境保全課	あり		11	5	0	0	4
60	八千代市廃棄物減量等推進審議会	クリーン推進課	あり		12	3	0	0	3
61	八千代市住居表示審議会	都市計画課	あり		0	0	0	0	0
62	八千代市都市計画審議会	都市計画課	あり		15	1	3	0	2
63	八千代市交通問題協議会	都市計画課	あり		0	0	0	0	0
64	八千代市地域公共交通会議	都市計画課	あり		20	0	0	3	4
65	八千代市都市マスタープラン策定会議	都市計画課	あり		14	1	0	4	2
66	八千代市建築紛争調停委員会	建築指導課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	3	1	0	0	0
67	八千代市建築審査会	建築指導課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	5	2	0	0	0
68	八千代市空家等対策協議会	建築指導課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	11	0	0	2	0
69	八千代市緑化審議会	公園緑地課	あり		10	0	0	0	3
70	八千代市都市整備部所管施設指定管理者選考委員会	公園緑地課	なし	①公募は可能であるが公募をしていない	5	0	0	2	0

【資料2】 各種審議会等委員状況調査結果(令和5年3月31日現在)

	①審議会名	②課(室)名	③公募の有無	④公募なしの理由	現委員数	女性	議員	職員	公募
71	八千代市自転車等駐車対策協議会	土木維持課	なし	⑦その他 協議会開催のたびに委員を応募するため、常時委員が存在する者ではない。	0	0	0	0	0
72	八千代市教育委員会所管施設指定管理者選考委員会	教育総務課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	0	0	0	0	0
73	八千代市通学区域審議会	学務課	なし	②有識者等に限定すれば公募可能であるが公募はしていない	10	1	0	0	0
74	八千代市学校適正配置検討委員会	学務課	あり		17	4	0	0	3
75	八千代市教育支援委員会	指導課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	12	8	0	2	0
76	八千代市特別支援連携協議会	指導課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	20	7	0	10	0
77	八千代市いじめ問題対策連絡協議会	指導課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	15	4	0	7	0
78	八千代市いじめ問題対策調査委員会	指導課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	5	1	0	0	0
79	八千代市特別支援教育専門家チーム会議	指導課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	13	6	0	2	0
80	八千代市青少年センター運営協議会	青少年センター	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	11	7	0	1	0
81	八千代市学校給食食物アレルギー対応検討委員会	保健体育課	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	7	1	0	0	0
82	八千代市学校給食センター運営委員会	保健体育課 学校給食センター	あり		10	6	0	0	1
83	八千代市生涯学習審議会	生涯学習振興課	あり		9	1	0	0	3
84	八千代市社会教育委員会	生涯学習振興課	あり		10	6	0	0	2

【資料2】 各種審議会等委員状況調査結果（令和5年3月31日現在）

	①審議会名	②課(室)名	③公募の有無	④公募なしの理由	現委員数	女性	議員	職員	公募
85	八千代市青少年問題協議会	生涯学習振興課	あり		20	5	0	2	2
86	八千代市公民館運営審議会	八千代台東南公民館	あり		9	4	0	0	2
87	八千代市図書館協議会	中央図書館	あり		9	6	0	0	3
88	八千代市スポーツ推進審議会	文化・スポーツ課	あり		10	2	0	0	3
89	八千代市史編さん委員会	郷土博物館	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	0	0	0	0	0
90	八千代市文化財審議会	文化・スポーツ課	なし	⑤特に専門的知識等が必要とされるため	8	1	0	0	0
91	八千代市立郷土博物館協議会	郷土博物館	なし	④法令等の規定により特定の職等に限定されているため	5	0	0	0	0
92	八千代市上下水道事業運営審議会	経営企画課	あり		10	2	0	0	2

各種審議会等委員状況調査 集計

令和5年3月31日時点

審議会等 設置根拠	各種審議会総数		休会除く 各種審議会数	休会除く 女性委員のい る審議会数	休会除く 公募委員のい る審議会数	委員総数	うち 女性委員	うち 市議委員	うち 市民公募
		うち 休会中							
法律	19 審議会	1	18 審議会	17 審議会	5 審議会	378人	128人	0人	13人
条例 (法令任意を含む)	32 審議会	6	26 審議会	23 審議会	13 審議会	250人	77人	3人	37人
規則	1 審議会	0	1 審議会	1 審議会	1 審議会	10人	6人	0人	1人
要綱 (法令任意を含む)	8 審議会	1	7 審議会	5 審議会	4 審議会	74人	16人	0人	10人
要領 (法令任意を含む)	31 審議会	4	27 審議会	25 審議会	12 審議会	301人	102人	0人	32人
規約	1 審議会	0	1 審議会	1 審議会	0 審議会	7人	3人	2人	0人
計	92 審議会	12	80 審議会	72 審議会 90.0%	35 審議会 43.8%	1,020人	332人 32.55%	5人 0.49%	93人 9.12%

今年度 廃止された 審議会	NO	審議会名	課室名
	9	八千代市情報公開審査会	法務課
	11	八千代市個人情報保護審査会	法務課
	52	やちよ食育ネットワーク協議会	母子保健課

今年度 休会になった 審議会	NO	審議会名	課室名
	61	八千代市住居表示審議会	都市計画課
	72	八千代市教育委員会所管施設指定管理者選考委員会	教育総務課
	29	八千代市生活支援体制整備事業協議体	福祉総合相談課

今年度 新設された 審議会	NO	審議会名	課室名
	15	八千代市市民活動協議会	コミュニティ推進課
	16	八千代市市民活動団体公益事業補助金審査会	コミュニティ推進課
	58	八千代市農業イノベーション計画協議会	農政課

【資料3】各種審議会等における女性委員登用率未達成に関する状況調査結果一覧

令和5年度

改善策A：団体等への推薦依頼の際は、依頼文に男女共同参画プランに基づき女性委員の積極的な登用に配慮いただきたい旨を記載する。
改善策B：市民公募委員については、コミュニティ推進課が所有する「公募委員候補者名簿」を活用し、女性委員割合の目標値を踏まえた選考を行う。
改善策C：市民公募委員の選考の際は、女性委員割合の目標値を踏まえ、女性を優先する旨を選考基準に入れる。
改善策D：千葉県女性人材リストを活用する。
改善策E：その他

	①審議会名	②課(室)名	③定数	④現委員数	⑤女性委員数	⑥女性委員の割合	⑦40%に達しない理由	⑧改善策			⑨改善不可 (理由を記入)
								ブルダウンより選択 (複数回答可)		(「Eその他」を選択した場合は、詳細を記入)	
1	八千代市総合計画審議会	企画経営課	21人以内	21	5	24%	団体等への推薦依頼の際、依頼文に男女共同参画社会の実現を目指した施策の推進の観点から女性委員の積極的な登用に配慮いただきたい旨を記載することや市民委員の公募などにより女性委員の登用促進に努めたが、女性の推薦及び応募が少なく、40%には達しなかった。	A	B		
2	八千代こども国際平和文化基金事業推進懇談会	シティプロモーション課	10人以内	10	3	30%	男女の区別なく、国際平和及び国際文化交流に関し、優れた識見を有する者（学識、国際、地域、商業分野等）を選出するため。	B	D		
3	八千代市情報化推進協議会	情報政策課	10人以内	9	1	11%	委員9名のうち、6名は関係団体からの推薦であり、女性の推薦は0であった。また、残りの3名は公募による市民委員であるが、日時とオンライン環境の条件が合う人が少なく、女性は1名しか委員に決定できなかったため。	A	B		
4	八千代市行政不服審査会	総務課	5人以内	5	1	20%	条例により法律又は行政に関して優れた識見を有する者を委嘱しているところであるが、適任者を選定した結果、女性委員が1名となっている状況である。今後も引き続き、新たに委員を委嘱する際には、女性委員割合の目標値を踏まえ、人選を行ってまいりたい。	C			
5	八千代市個人情報保護制度運営審議会	法務課	10人以内	10	3	30%	団体へ推薦を依頼した際、多数の現委員が継続されたため、新たに適任者が見つからなかったことによる。	B			
6	八千代市防災会議	危機管理課	会長及び委員32人以内	31	1	3%	「八千代市防災会議条例」に基づき、関係機関からの推薦者及び市職員に対し、委嘱（指名）をしているため。	A			
7	八千代市国民保護協議会	危機管理課	33人以内 (会長含む)	33	2	6%	「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」に基づき、関係機関からの推薦者及び市職員に対し、委嘱（任命）をしているため。	A			
8	八千代市市民活動団体支援審査会	コミュニティ推進課	7人以内	7	2	29%	推薦を依頼した団体から選出される方が、男性が多かったため。			廃止	市民活動団体支援金交付制度が廃止されたことに伴い、当審査会も廃止されたため。
9	八千代市入札契約適正化委員会	契約課	3人以内	3	0	0%	少人数のため。	A			
10	八千代市公共施設再編検討・検証委員会	資産管理課	8人以内	7	2	29%	積極的な女性委員の登用を心掛けているが、団体から有識者の推薦と公募による選考で委員を選定しており、女性の候補者及び応募者が少ないことから、40%達成は難しい状況である。今後も引き続き女性委員の積極的な登用に努める。	B			
11	八千代市応急医療救護対策会議	健康福祉課	29人以内	27	4	15%	委員の一部が、医師会等関係機関の代表者や市関係部局長等に指定されていて、男性比率が高いため。その他の委員は関係機関からの推薦であるため。	A			

12	八千代市健康福祉部所管施設指定管理者選考委員会	健康福祉課	5人	5	1	20%	委員の一部が、市の職員（企画部長，財務部長）に指定されていて、男性比率が高いため。	E			学識経験者を選考する際、女性を優先する。	
13	八千代市老人ホーム入所判定委員会	福祉総合相談課	特になし	7	1	14%	あて職により、該当する委員に男性が多かったため。					あて職であり、選考できないため。
14	八千代市認知症初期集中支援チーム検討委員会	福祉総合相談課	11人以内	11	4	36%	現状は、市が医師会等の団体に推薦依頼を行い、推薦を受けた者に対して委嘱しているため、こちらから女性委員を指名することは困難。	A				
15	八千代市介護認定審査会	長寿支援課	90人	83	30	36%	市が医師会等の団体に推薦依頼を行い、推薦を受けた者に対して委嘱しているため。	A				
16	八千代市公的介護施設等整備事業者評価委員会	長寿支援課	6人	6	2	33%	委員の内4名が、関係部局の管理職となっているため。	E			関係部局の女性管理職の登用数が上がれば、女性委員の割合は上がる。	
17	八千代市福祉有償運送運営協議会	障害者支援課	15人以内	10	1	10%	関係団体からの推薦であるため	A				
18	八千代市障害者差別解消支援地域協議会	障害者支援課	13人以内	13	5	38%	当該設置要綱に規程している団体の代表が男性であるため。	A			現在当該審議会を統廃合の準備をしているため、統廃合の折は目標達成できると思われる。	休会中
19	八千代市第3次健康まちづくりプラン推進・評価委員会	健康づくり課	16人以内	16	8	50%						達成
20	市の国民健康保険事業の運営に関する協議会	国保年金課	13人	13	4	31%	委員のほとんどが各種団体から推薦される者であるため。	A				
21	八千代市要保護児童対策地域協議会代表者会議	子ども福祉課_子ども相談センター	規定なし	26	6	23%	関係機関による推薦によるため。					協議会の構成員は、児童福祉法第25条の2第1項に規定する「関係機関、関係団体及び児童の福祉に関連する職務に従事する者その他の関係者」と定められており、関係機関による委員の推薦によるため女性委員の割合を40%以上に担保することができない。
22	八千代市予防接種健康被害調査委員会	母子保健課	7人	7	0	0%	委員の構成は、八千代市医師会長等、すべて定められているため男女比を考慮することができないため。					委員の構成は、八千代市医師会長等、すべて定められているため男女比を考慮することができないため。
23	八千代市産業振興審議会	商工観光課	10人以内	9	2	22%	公募した市民委員2人は女性を任用したが、残りの7人は関係団体からの推薦者となっており、女性の選出がなかったため。	A	B	C		
24	八千代市観光振興懇談会	商工観光課観光推進室	11人	11	1	9%	市民委員を2人公募した際、女性1人から応募があり任用したが、残りの9人の委員については関係団体からの推薦者となっており、女性の選出がなかったため。	A	B	C		
25	八千代市農政審議会	農政課	10人以内	10	2	20%	農業の現状や課題等について広く関係者の意見を聞くため、関係団体の選定を行い、委員の選出を依頼した。 各団体には積極的な女性登用を依頼したが、「役員に女性がいなかったため選出不可」等の理由により、選出不可とのことだった。				休会中	当該審議会とは、私的諮問機関のまま継続するか、附属機関として改めて設置するのか検討している状態であり、令和5年7月24日をもって現委員の任期が満了したが、その後委員の委嘱を行っておらず、当面委嘱の予定もないため。
26	八千代市経済環境部指定管理者選考委員会	農政課	5人以内	5	0	0%	道の駅や農産物直売所等の専門分野に精通する有識者等を委員に任命する必要があったため。					団体等や市民公募による委員の任命ではなく、専門的な知見を持つものを委員として任命する必要があるため、改善策を講じることができない。 また、八千代市指定管理者制度ガイドラインにおいて、企画部長及び財務部長が委員になることが決められており、改善策を講じることができない。

27	八千代市農業イノベーション計画協議会	農政課	14人以内	14	5	36%	団体等や市民公募委員について、積極的な登用に努めたが、その他に委員については、道の駅や農産物直売所等の専門分野に精通する有識者等を委員に任命する必要があったため。	A	B			
28	八千代市廃棄物減量等推進審議会	クリーン推進課	12人以内	12	3	25%	委員の任期が2年のため、今年度は登用は行っており、目標値に達していない状況である。	C				
29	八千代市都市計画審議会	都市計画課	15人以内	15	1	7%	関係団体からの推薦であるため。公募したが女性の応募が無かったため。	B				
30	八千代市地域公共交通会議	都市計画課	規定なし	20	0	0%	関係団体からの推薦であるため。	B				
31	八千代市都市マスタープラン策定会議	都市計画課	14人以内	14	1	7%	関係団体からの推薦であるため。公募したが女性の応募が無かったため。	B				
32	八千代市建築紛争調停委員会	建築指導課	3人	3	1	33%	パーセントで見れば33%と未達成となっているが、委員3名中1名が女性となっており、実質達成していると判断している。					現状で女性の推薦も依頼している中、あまり過度に薦めると委員の確保自体が難しくなることが懸念される。なお、委員の数（多い・少ない）で女性比率40%にこだわると女性比率に偏りが出るので最低何人とした方が分かりやすいと思います。（32、33共通）
33	八千代市空家等対策協議会	建築指導課	11人	11	0	0%	外部団体等への推薦依頼の際、適任者が複数いる場合、女性を優先するようとしているが、各団体から推薦される方がたまたま男性となっている。	A				
34	八千代市緑化審議会	公園緑地課	12人以内	10	0	0%	審議会委員の任期が4年となっており、現時点で市民及び学識経験者等が全員男性委員で構成されているため。					審議会委員の任期が令和7年2月末までとなっているので、早急に改善することは不可。ただし、目標値達成のため、女性委員の登用検討は行うが、具体的な改善策について現時点で回答することは困難である。
35	八千代市都市整備部所管施設指定管理者選考委員会	公園緑地課	5人	5	0	0%	5名中2名が市職員のあて職であることと、3名の学識経験者の先生には継続して依頼しているため。					2年おきの改選で辞退等があれば女性委員の登用を検討できる可能性はあるが、現時点では困難である。
36	八千代市通学区域審議会	学務課	12人以内	10	1	10%	通学区域の審議には、地域が作られてきた経緯・背景を考慮する必要がある。そのため、地域の成り立ち等に詳しい方々を学識経験者として継続して登用しているが、その方々がたまたま男性が多いため。またPTAと学校長については人事異動等に伴う変更が生じるが、こちらについても、必ずしも女性の委員がいるとは限らないため。					通学区域の審議には、地域の成り立ち等や通学区域が変更された経緯を知っている方々を継続して登用する必要があるため。またPTAと学校長については人事異動等に伴う変更が生じるため、必ずしも女性の委員がいるとは限らないため。
37	八千代市学校適正配置検討委員会	学務課	20人以内	17	4	24%	学校適正配置検討委員会の委員は、関係団体からの推薦によって構成されるため、女性を限定して推薦依頼をすることができない。また、昨年度市民委員公募の際に、女性も候補に挙がっていたが、会議参加可能時間等の条件に合わなかったため。	B	C			
38	八千代市特別支援連携協議会	指導課	規定なし	20	4	20%	20人の委員の中10名が外部で、うち3名が女性。他10名は市職員（課長級）で、うち1名が女性。それぞれ充て職なので、事務局で調整することが不可能。					委員が充て職で構成されているので、事務局で改善できる性質のものではないと考える。
39	八千代市いじめ問題対策連絡協議会	指導課	15人以内	15	3	20%	15人の委員のうち6名が外部でうち3名が女性である。他9名は市の職員（課長級）でうち女性はいない。そのため、女性3名にとどまっている。					委員が充て職と各機関からの推薦者で構成されているので、事務局で改善できる性質のものではないと考える。
40	八千代市いじめ問題対策調査委員会	指導課	5人以内	5	1	20%	5名の委員はそれぞれ法律、医療、心理、福祉、教育の各機関から推薦していただいているため、男女比の調整については難しいと考える。					委員が充て職と各機関からの推薦者で構成されているので、事務局で改善できる性質のものではないと考える。

41	八千代市学校給食食物アレルギー対応検討委員会	保健体育課	7人以内	7	2	29%	組織については、性別による登用ではなく、役職により選任しているため、女性委員が少なくなっている。	A				
42	八千代市生涯学習審議会	生涯学習振興課	20人以内	9	1	11%	学識経験者及び関係団体の代表者は、大学及び関係団体からの推薦となっているため。	A				
43	八千代市青少年問題協議会	生涯学習振興課	会長及び委員19人以内	20	5	25%	学識経験者及び関係団体の代表者は、大学及び関係団体からの推薦となっているため。	A				
44	八千代市スポーツ推進審議会	文化・スポーツ課	10人以内	10	2	20%	学識経験者については、関係機関等からの推薦を受けて任命するため。	A	B			
45	八千代市文化財審議会	文化・スポーツ課	10人以内	8	1	13%	なるべく女性委員を選任するように努めているが、専門性が極めて高い分野の為、女性委員登用率が中々高まらない。	E			専門性が極めて高い分野の為、「男性を選ぶ、女性を選ぶ」という感覚での登用は難しいが、同じ専門分野で同等の力量を持つ男女複数候補者がある場合には女性委員を登用し、審議会として女性委員の登用率を高めるように努める。	
46	八千代市立郷土博物館協議会	郷土博物館	5人以内	5	0	0%	博物館法施行規則第18条及び八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例第8条第2項で委員の任命の基準を定めており、基準を満たす女性委員が少ない。	A				
47	八千代市上下水道事業運営審議会	経営企画課	10人以内	10	2	20%	10人中5人の関係団体からの推薦者が全て男性であったこと等により、女性の比率が低くなっている。	A				